

【目的】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組

目標に準拠した観点別学習状況評価の取組、ICT環境を生かした指導の工夫

【領域】

(1) 現代社会と健康 生活習慣病などの予防と回復

1 実施の概要

(1) 実施環境：HR教室（Wi-Fi環境あり）

(2) 使用機器：タブレット（1人1台）

(3) 活用ソフト：パワーポイント Word Metamoji Forms

(4) 対象：入学年次 男子20名 女子20名

2 活用の実際（ICT環境を生かした指導の工夫）

（１）「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組

【学習の流れ】

【導入】

本時の目標
内容の確認

【展開】

各グループによる発表会
Formsにて相互評価
教師による授業



【まとめ】

授業プリント
次回の説明

【活用場面】 場面：展開

4人1組のグループを構成し、グループごとに調べる学習内容（発表内容）を決定させた。調べた学習内容についてはパワーポイントを活用し発表資料としてまとめさせた。調べた学習内容については発表会においてグループごとに発表させるとともに、調べた学習内容（発表用資料）を「Metamoji」を活用し他のグループへ配布したことで、学びが深化した。

【活用場面写真等】



生徒はタブレットで「Metamoji」を開き手元で発表資料を確認

（２）目標に準拠した観点別学習評価の取組

【観点別学習状況評価】

思考・判断・表現

【評価規準】

生活習慣病の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、課題解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。

【活用方法】

- ①各グループが調べた内容について発表会を実施し、発表内容について「Forms」を活用し生徒同士で相互評価を実施した。
- ②発表内容について教師は観察での評価を実施するとともに、生徒が実施した相互評価を総括して評価した。

【活用場面写真等】



3 参加した生徒の感想等

- ・ 高校生の視点から健康課題が分析されており、生活習慣病を自分事としてとらえる機会になった。また生活習慣病が想定していたより身近なものであり、現時点から予防していくことが大切であると感じた。
- ・ 発表者の発表だけでは聞き逃すことがあったが、発表資料を「Metamoji」で配布してもらうことでそういった問題点が解消され理解しやすかった。
- ・ 「Forms」を使用した相互評価が一つのモチベーションになった。スマホを使用して評価可能であるため、手軽で操作しやすいと感じた。
- ・ 各グループが作成したパワーポイント資料について見にくいものもあった。文字の色や大きさを工夫するとより良くなると思った。

4 成果と課題

（１）「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組

【成果】

グループで協力して、パワーポイントを活用し発表資料を作成することで、自分たちで多くの情報を集め、その中から重要な内容を選択し分かりやすい発表資料を工夫し作成する等、主体的な学びにつながった。また、発表資料を用いてグループ全ての生徒が発表したり、発表内容について聞き手が、質問したりする等対話的な学びにつながった。

【課題】

発表資料作成では、多くのグループが協力して発表資料を完成させていたが、グループによっては進度が遅いグループもみられたため、グループ内の役割分担を明確にする必要がある。

文字の大きさや色使い等で発表用資料が見にくく理解しづらい部分があった。

（２）目標に準拠した観点別学習評価の取組

【成果】

発表内容について「Forms」を活用して、生徒同士で相互評価を実施させたことで、相互評価の集計等が短時間で効果的に実施できた。また、生徒の相互評価と、教師の評価を総括することにより、より効果的な評価につながった。

【課題】

生徒の相互評価は、グループの発表内容に対する評価のため、個人評価につながらないことがあった。